

今回は、「解決策」を考えていきます。  
「ABC分析」と「原因推定」をみるのが大切です。



### 原因推定

- 「たくさんの友だちや教員がいる場所が苦手だから」
- 「集会の時間のスケジュールの提示がなく、見通しが持てないから」
- 「以前集会の時間に、突然友だちに話しかけられたり指名されたりしたから」
- 「集会の時間に参加することがイヤだと言えないから」

このケースでは「上靴を投げる」行動を減らすために、○をつけた原因に注目し、その行動の裏に隠れた「適切な行動」について、まず考えました。大きく2つあります。

1つめは担任として、集会に参加してほしい。言い換えると「集会の時間ずっとみんなと同じように座っていてほしい」。集会の時間に、繰り返し上靴を投げる現状から考えて、すべての時間座っていることは難しいので、「決めた時間、決められた場所に座る(もしくは座っているけど別の活動をする)」という適切行動が考えられます。

2つめは、集会に参加していてイヤになったときに『教室に戻りたいです』カードを渡すことで伝える」という適切行動が考えられます。

2つ同時にアプローチする場合がありますが、上靴を投げる行動が「逃避」の機能が強いことが推定されるので、今回はまず『教室に戻りたいです』カードを渡すことで伝える」で考えていきます。

次回は、「上靴を投げる」行動ではなく、適切な行動である『教室に戻りたいです』カードを渡すことで伝える」行動が増えていくようにAとCを改善していくことについてお話させていただきます。

